

No. 2906

2018-2019年度

会 長 上野山 栄作

幹 事 嶋田 崇

R広報委員長 菅原 佳典

担当：中村委員、嶋田(ひ)委員



第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 事務所 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2018-2019年度クラブ方針

Take Action and Enjoy!
 行動を起こそう！そして楽しもう！



本日のプログラム

- 平成31年4月11日 第2907回
- ・外部卓話：秋竹俊伸氏（株早和果樹園 社長）
「若者と共に！夢のある農業経営を」
- ・ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

- 平成31年4月18日 第2908回
- ・クラブ協議会
「創立60周年記念事業について」
- ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第2906回例会）

法要例会 於：フューネラル有浄会館

開催日 平成31年4月4日(木)

点 鐘 (上野山(栄)会長)

ゲストの紹介 (石垣(泰)親睦活動委員長)

ご参列いただいたご家族様

榎本俊子様、浦芙美代様、川村祥子様、浅井宏吉様

会長の時間 (上野山(栄)会長)

皆様、先日新元号が「令和」と発表されました。5月からは新しい天皇の下、新たな日本の未来が始まるわけです。本年度2018-2019年度は、正に平成と令和の2つの元号が重なる節目であります。そのような歴史の節目と重なる年に、有田ロータリークラブは創立60周年を迎えるわけがございます。そして本日、平成最後の月に、榎本秀彦様、浦元信様、川村克人様、浅井修一郎様の4名の物故会員様の法要の例会を営ませていただくことに感慨深い思いが御座います。



私は法要とは人の関係性の過去と未来を繋ぐ意義深いものであると思っています。どのような賢者であっても死を避けることが出来ません。しかし、人は人の記憶の中で生き続け、人を繋げ、いつまでも後世に影響を与えていくことが出来るのだと思いますし、残された者たちは、その記憶を拠り所にし、教えを頂きながら自分自身を考えることも出来ます。法要の場は関係者が故人を今一度、思い出し、感謝し、自分自身を振り返る場ではないでしょうか。若

輩者では御座いますが4名について私なりに述べさせていただきます。

榎本さんとは直接お会いすることは叶いませんでしたが、こちらの有浄会館でご葬儀をさせていただきました。昭和53年に入会され、平成2年度には幹事を務められ、そして平成20年度には30年永年功労表彰の荣誉に浴されました。この間、社会奉仕活動、とりわけ、青少年育成やローターアクト部門などにご熱心に取り組まれたと伺っています。特に成川ガバナー年度には、ご自身のお身体の調子も悪い中でインドのムンバイへポリオワクチン投与に向かわれたと聞き、その奉仕への志の高さを感じています。タクシー事業のほか飲食業等も営まれた事業家であり、お酒が大好きでロータリーの親睦活動を担う沢山の思い出話も聞き、そのお人柄を偲ばさせていただきました。平成25年2月1日、享年75才にて亡くなられました。

浦さんは平成13年に入会され、各委員会や委員長として奉仕に献身的に活動されました。とりわけ、平成21年度には社会奉仕委員長で同時に理事として多大な貢献をされました。私も入会当時、温厚なおもむきで新人に対しても敬意を持って接してくださる浦さんのご性格に助けていただいた記憶がございます。また、平成23年の例会では、テーマ「仕事のお話」という卓話の中で、物作りに対する姿勢を学ばせていただきました。発明家であり、その発明が社会に貢献する会社であるのだと実感した記憶がございます。闘病生活を続ける中、一度ご自宅に伺いますと、いつも送られてくる週報を楽しみにしていると伺い、本当にロータリーを愛されていたのだと実感させられました。平成28年2月1日 享年66才にて亡くなられました。

川村さんは平成元年にご入会されています。平成11年には地区幹事を務められるなど積極的にロータリー活動を行なっていたと伺いました。私が入会の頃は地区の雑誌・広報委員長を務められ、積極的な広報を教えていただいた記憶がございます。とりわけ入会まもない会員方を

法 話

「また会える浄土」

会員

児島 良宗 君

(浄満寺)

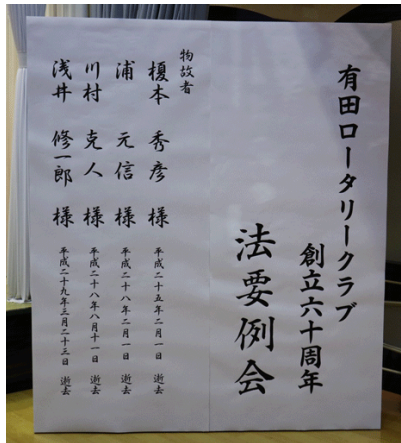


面倒見よくご指導されていきました。私自身も色々なことを教えて頂きました。時には自分の意見を決して曲げない、しかし、その優しさはひとしおでした。川村様の紳士的な、そしてお年を召されても、その頭脳明晰な姿は私の憧れでありました。一昨年、ご病気の上で予定より

り早められ、結局最後になってしまった10月1日の卓話「ロータリー今昔物語」は、川村さんが最後のメッセージを伝えたかったのだと思います。ロータリーを愛されていた証であります。平成28年8月11日 享年84才にて亡くなりました。

浅井さんは平成10年に入会されました。ロータリーには「みんなのためになるかどうか」「地域のための奉仕活動」という考えがございます。有田市や和歌山県のためにと貴方の地域への熱い思いには、我々会員も感銘を受けました。和歌山県議会議員として、また和歌山県議会議長の職を勤め、本県のため人生をささげ、最期まで身を粉にして責務を全うされた、その姿は私たちの胸に深く刻まれるものでした。ご夫婦健在の時代には常に一緒に市民のお葬式に必ず顔を出されていました。奥様が亡くなられた時には大きな悲しみがあったと思いますが、その悲しみを打ち消すように県政に務められる姿は誰も真似のできるものではありませんでした。浅井さんにはやり遂げることの大切さを教えていただきました。平成29年3月23日 享年69才で亡くなりました。

時代は平成から令和へと受け継がれて行きます。有田ロータリークラブもこの4名の会員様から学んだ教えを忘れることなく、奉仕の理想を胸に掲げ、さらなる歩みが続けてまいりましょう。この後、児島良宗会員の導師のもと法要のお勤めを行います。どうか皆様、4名様のお思い出に身を寄せてくださいませ。



「古希の夫大の字に寝て盆三日」、平生は如何に活動的であったかが窺える川村さんの奥様の句です。10年前はお元気であられた祭壇の4人さんを偲ばせていただきました。

昨年9月15日に樹木希林さんが75歳で亡くなりました。有名人が亡くなると訃報、葬儀、追悼番組の3点セットが普通ですが、希林さんは10日間放送されたそうです。若い頃から仏教に興味を持ち「稀心会」に入会、仏典を熟読、独特の死生観、ユニークな言動で有名でした。死後発売された「一切なりゆき」は3ヶ月で100万部突破、平成最後のミリオンセラーになっています。死は誰にでも訪れるもの、「生きるのも日常、死ぬのも日常」、特別なものではありません。同業者の方の訃報にも「ああ、そうですか」と、希林さんはお参りもしなかったそうです。私の葬儀もお参りしてくれなくてもいいが持論で、がん発病時から終活もしっかりと行い、自分の葬儀の段取りまでしていました。9月30日の内田の本寺、光林寺での葬儀には1500人が参詣しました。そんな希林さんですが、同じがんで苦しんだ西城秀樹さんの葬儀には参列しました。弔辞では、「ゆっくりお休みください、さようなら」が普通ですが、希林さんは、「秀樹君、ありがとう。(しばらく沈黙、手をかざし)、又、会いましょう」と結んだそうです。素晴らしい言葉ですね。その手の先にお浄土が見えるようだったと参会者は述べられています。

また、去る2月24日には、ドナルド・キーンさんが亡くなられました。同じ大正11年生まれで、作家の瀬戸内寂聴

さんが追悼文に、「向こうでおしゃべり相手が欲しくなり、そのうち私を呼びにくるはずです。その日が待ち遠しい」と書かれています。希林さんも寂聴さんも「浄土はすぐそこ」にあるんです。行く先が定まったら、人間どう変わっていくのでしょうか。

ある老夫婦の話です。

爺さん83才、婆さん80才、何時も揃ってお寺参りし、何事につけても「お陰様で、ありがたいのう」が口癖のお爺さんでした。ある日、元気なお婆さんが脳梗塞で倒れました。さすがに今度ばかり



二つ二つ箱の報告

は爺さんも愚痴るのではと思ってお見舞いに行った友人が、「婆さん、達者やったのに困ったことになったなあ」と言うと、「いいや、わしはありがたいと・・・」と爺さん。「婆さん、倒れて何があるがたいんや？」と聞くと、爺さんが、「笑うなよ」と言いながら、こう話しました。

「夕べ、婆さんが粗相して下着を汚したんじゃ。息子の嫁が洗うと言ってくれたが、嫁も嫌じゃろ。それよりも婆さんが哀れでの。それならわしが洗ってやろうと、初めて洗濯したんじゃ。家の前に物干しはいかにもと思い、この隠居の軒に竿を掛けて洗濯物を干して、婆さんの方を見てたまげたんじゃ。婆さんがあの不自由な手を無理に動かして両手を合わせて拝んでいるんじゃ。『婆さん何しとる』と聞くと、『爺さん、すまんよう、勿体ないよう』と涙をこぼすんじゃ。その瞬間、頭をガツンと叩かれた気がしたのよ。結婚して60年、三度の食事も、洗濯も、礼一つ言ったことがない、ただ一度下着を洗っただけで婆さんに拝まれたのよ。わしはなんという粗末な人間であったか、今まで、お寺参りで何を聞いていたのか、恥ずかしい自分と出会ったのよ。『婆さん、60年の恩返しや、今日からわしがお世話させてもらうで、気楽に養生せえや』言うたら、『すまんよう、勿体ないよう』言うて手を合わす。わしも『勿体ないのはわしのほうじゃ』言うて、2人で拝み合ったのよ。これも婆さんの病気がご縁、ありがたいのう・・・」

苦を縁として、今まで聞いてきた法義が身証されていくのです。苦を超えた世界が広がるのです。

閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)

幹事報告 (嶋田(崇)幹事)

1. 入院されていましたが上野山英樹さんと橋爪正芳さんは、先日無事に退院されました。現在、自宅療養されていますが、お見舞い等行かれる予定の方は、事前にご連絡なりしてご配慮を宜しくお願いします。
2. 本日の例会終了後、このフューネラル有浄会館にて第10回定例理事会を開催致します。

委員会報告

*親睦活動委員会(石垣(泰)委員長)

親睦家族旅行に多数のご参加ありがとうございました。前日の悪天候にもかかわらず、花見日和に恵まれ、皆様と親睦を深められました。

*社会・青少年奉仕委員会(川口委員長)

みかん海道並びにウエノ公園桜木の手入れと清掃活動の案内

出席報告 (木本例会運営委員長)

本日の会員数31名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数27名

(出席規定免除会員7名)

92. 10%

3/21 休会

上野山(栄)君:本日の法要例会に際し、榎本俊子様、浦芙美代様、川村祥子様、浅井宏吉様、お越し頂きありがとうございます。会員一同で今は亡き4名の会員様をお慰めしたいと思います。

嶋田(崇)君:本日の法要例会、宜しくお願いします。

児島君:4人を偲びお浄土であえる日を楽しみに・・・。

成川(守)君:在りし日の友人をしのび、ご冥福をお祈り申し上げます。

上野山(捷)君:本日の法要例会、よろしくお祈りします。

中元君:本日の法要例会、よろしくお祈りします。

木本君:児島良宗先生、本日の法要例会、宜しくお願い致します。

菅原君:法要例会、児島さん、宜しくお願い致します。

北畑君:本日、法要例会、よろしくお祈りします。

川口君:本日、法要例会、児島良宗さん、宜しくお願い致します。

石垣(泰)君:榎本俊子様、浦芙美代様、川村祥子様、浅井宏吉様、本日の法要例会へのご出席ありがとうございます。

橋本君:皆様との楽しかったロータリーでの活動を思い出します。

丸山君:60周年記念法要例会、宜しくお願いします。

石垣(洋)君:皆様との楽しかったロータリーライフを今、思い起こしています。在りし日の友人をしのびご冥福をお祈り申し上げます。

岩本君:児島さま、本日は大変お世話になります。

嶋田(恵)君:ご冥福をお祈り申し上げます。

井上君:ご冥福をお祈り申し上げます。

脇村君:皆様方との楽しかったロータリーライフを今、思い起こしています。

中村君:家族旅行ありがとうございました。たつぷりと飲ませていただきました。

橋爪(誠)君:ロータリーへの熱い想いを今、思い出します。

宮井君:ありし日のお姿が目には浮かびます。ご冥福をお祈り申し上げます。

福原君:ご冥福をお祈り申し上げます。

松村君:児島さん、法要例会よろしくお祈りします。

法要例会の終了後、フューネラル有浄会館のお部屋をお借りし、物故会員様のご家族様と共に食事会を開催しました。

